



No Challenge, No Life チャレンジなくして、人生なし



Do you know what chemical reaction will be produced when the experience of a space engineer and a professional nursing student melt down? It's just like a flower arrangement based on three elements: Heaven, Earth and Human. The answer is "a new dream" which is a reflection of the person who arranged that flower.

In this case, Heaven is Autumn constellations such as Pegasus, Andromeda etc, and our star guide, Dr. Yoshiaki Kuwata of Space X who conducted successfully to the reusable Falcon Rockets; Earth, Catalina Island; and Human, our nursing students. If you have an interest in the following Japanese sentences, you can find English translation by Google on:

http://www.liveforum.org/No_Challenge_No_Life_google.pdf

from Max

「いま皆さんが見ている星の光は、250万年前のものです」
北半球のガラパゴスと称されるカタリナ島の天空には、ギリシャ神話でおなじみのアンドロメダ座やペガサス座など秋の夜空を彩る星座が寥々と輝いていた。今年の星案内人は宇宙開発の最先端に行くスペースX社で活躍する桑田良昭氏。同社は再利用可能なファルコン・ロケットの開発で一躍有名になったが、桑田氏はロケットを回収するための制御システムの筆頭プログラマーでもある。

「一般民間人の火星旅行は、いつ頃実現できますか」(学生)
—火星に行くためには単体ロケットでは無理で、現在、開発中のロケットを追加しなければなりません。また打ち上げと帰還のタイミングは、火星が地球に接近する周期(約2年2ヶ月)に合わせなければならない為、かなりの時間調整が必要です。しかし、皆さんが生きている間には、旅客機のような手軽さで火星移住(旅行)は可能になると思います。

ロケットの再利用で宇宙旅行への門戸が大きく開かれたとはいえ、まだ未知の領域。失敗とその原因究明を積み重ねながら前進するチャレンジ精神が何よりも大切、という。大航海時代のコロンブスは、地球が球体であると確信し前人未踏の西周りで黄金の国「ジパング」を目指したが、桑田氏はさしずめ宇宙大航海時代の針路を決定するキャプテンの一人と言っても過言ではない。その功績が認められ、「次代を創る100人」の中に抜擢された(日経ビジネス2016/12/19号)。

閑話休題。地上の話に戻ろう。

カタリナ島キャンプを終え医療研修に臨んだ看護学生の中に、桑田氏のように果敢にも未知の領域に向かってチャレンジしようとする学生がいたことを付け加えておく。

それはEMT班(救急車同乗)の学生で、嬉しいことに複数名いた。目指す目標は、看護とEMT医療を融合した「救急医療看護師」の新たなジャンルで、その明確なモチベーションと固い決意に感動すら覚えた。

これも16年間にわたり熟成されてきた伝統の積み重ねであろうか。天、地、人が融合した時、宇宙時代の新たなドリームが生まれる。チャレンジなくして、人生なし。願わくば、救急医療看護師のタイトルを持った日本初のナースが17期生の卒業生から輩出してくれることを心から祈念したい。